



学生 Web 活動委員会レポート

自動車技術会主催

第 1 回技術者育成講座受講レポート

山田 光 (日本大学)

1. はじめに

2017年3月24日金曜日に自動車技術会主催の第1回技術者育成講座を発明会館にて受講させていただきました。第1回目の開催となりましたが、約120人と多くの方が受講されました。今回は、自動車開発の実体験を交えた講演や、技術者倫理といった技術者に必要な知識や考え方等の講演がありました。この講座では講演だけでなく、フロアディスカッションや交流会といった場があり、質問しやすい環境が整えられていると感じました。図1は技術者育成委員会委員長の本田康裕氏による開会の挨拶の様子です。壇上左にいる司会は技術者育成委員会副会長の佐藤育男氏です。



図1 開会の挨拶

2. 講演 1

山口東京理科大学の貴島孝雄氏より、「感性豊かなものづくり・技術者の葛藤」の講演が行われました。この講演では、ものづくりに求められていることは何なのかということ学びました。講演の中で特に、技術的に優れているものが使う人にとって良いものかはわからない、という話が印象に残りました。また、貴島氏は以前マツダに勤めており、そこでのロードスターの開発のお話も聞くことができました。ロードスターは乗り心地や外見等を流鏑馬や小面などの日本文化からヒントを得たという話は興味深いものでした。

3. 講演 2

本田技術研究所の石橋豊氏より、「ふたつのホンダ軽スポーツカー 夢の実現にむけて」の講演が行われました。ここでは Beat と S660 の開発の話を主に聞くことができました。Beat は思ったよりも売れなかったが、売れた台数の半分以上が今でも愛用されているという話を聞き、失敗は悪いものなのか、また、失敗をすぐに失敗と決め付けていいものなのか考えさせられました。

4. 講演 3

東京都市大学/滋賀医科大学の本澤養樹氏より、「技術者倫理」の講演が行われました。色々な言葉の意味から細かく説明していただき、わかりやすい内容でした。フォードのピントが問題で起きたグリムショー事件のことを実例に講演されたのですが、倫理的な問題の例としてとてもわかりやすいものでした。ほかにも生命倫理や研究者倫理等、考え方を厳格にするお話も聞くことができました。

5. 講演 4

広島市立大学の井上博之氏より、「車載サイバーセキュリティ概論」の講演が行われました。この講演では、車載ネットワークの脆弱性とその未来について聞くことができました。実際に井上氏の自動車をハッキングしている動画を見せてい

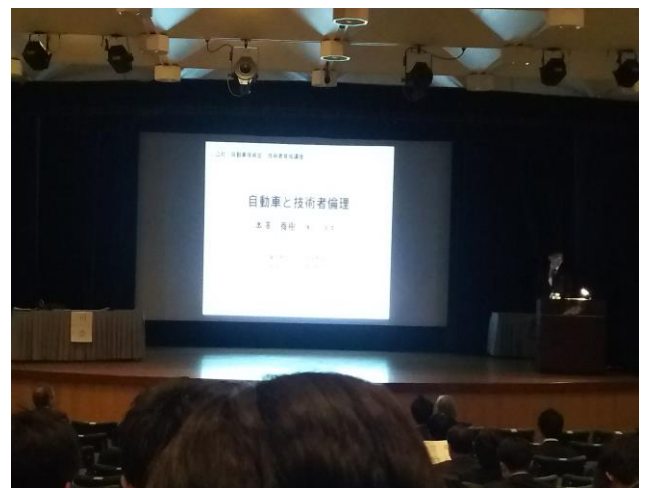


図2 講演の様子

いただきましたが、思っていたよりも簡単にハッキングするのが衝撃的でした。また、自動運転に使用される超音波センサ等も簡単にジャミングできるというのは衝撃的でした。これらの対策は今後どうやっていくのが気になる内容でした。

6. フロアディスカッション

フロアディスカッションは、2.～5.で紹介させて頂いた4名と技術者育成委員会委員長の本田康裕氏に対しての質疑応答という形式であり、個別講師や登壇者全体に向けた質問が可能でした。実際に3つほど質問がされましたが、それに対してとても丁寧に答えていて内容も分かりやすかったです。図3はフロアディスカッションの様子で、左から司会の佐藤育男氏、本田康裕氏、貴島孝雄氏、石橋豊氏、本澤養樹氏、井上博之氏です。



図3 フロアディスカッション

7. 交流会

交流会は立食型式でした。ここで講演者に質問しに行ったり、他の受講者と親睦を深めたりする方が多数いらっしゃいました。私も技術者倫理の講演をしてくださった本澤氏に質問を致しました。



図4 交流会

8. その他

会場入口に自動車技術会書籍販売コーナーが設置されました。図6に示すように見本品があり、試し読みができるようになっておりました。また、講座参加者限定のディスカウントも行っておりました。

9. まとめ

どの講演もこれから技術者になる方へのアドバイスのように感じました。また、技術や知識を蓄えるだけではなく、現場の声にも耳を傾けなければならないということを再確認させられました。



図5 会場入口で記念撮影



図6 自動車技術会書籍販売コーナー